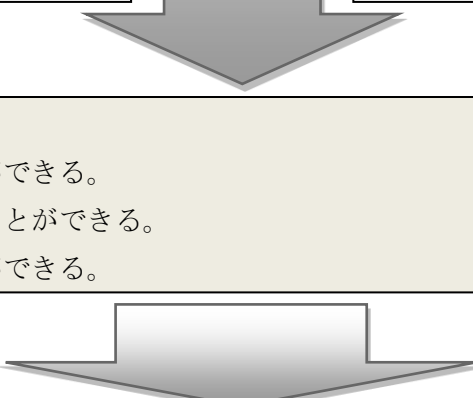


都立つばさ総合高等学校 グランドデザイン

<p>【生徒の現状】・穏やかに落ち着いた生徒が多く、部活動参加率が90%と高い。・自分のやりたいことには一生懸命取り組むが、難しい課題や目標への取り組みが消極的である。・学習に対する意識に差がみられる。・目標が定まると、それに向かって努力することができる。</p> <p>【学校の現状】・多様な普通科・専門科目の中から、能力、適性、興味、関心や、高校卒業後の希望進路の実現に向けて生徒が主体的に科目を選択し学習する。・「産業社会と人間」の授業を通して、自分自身を知り、職業や社会への知識を深める学習を行っている。・90%の生徒が田区・品川区から通学しており、全生徒の60%が自転車通学をしている。・飛騨祭（体育祭）、銀葉祭（文化祭）、奏楽祭（合唱コンクール）などの学校行事は実行委員会を中心に生徒が主体的に活動している。</p>	<p>【教育目標】 時代の変化に即応する総合教育を通して、生徒の主体的な学習を促し、個性を伸ばさせ、国家及び社会の有為な貢献者として必要な資質を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 望ましい勤労観・職業観を養い、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせ、主体的創造性を高める能力・才能を伸ばす。 2 人を慈しみ、環境を大切にする健全な心身を養い、国際社会の平和と発展に貢献できる態度と行動力を育てる。 3 生涯にわたって継続的に学習する意欲・態度を育て、自主・自律・自治の規範をもって自己実現を図る力を培う。
<p>【予想される社会の変化】 グローバル化、IoT、AI、ロボティクス、ビッグデータなどの成長により社会構造の大きな転換期を迎え、機械化・自動化が進捗することにも伴い、課題を見出して解決する能力や、新たな価値を生み出す人材が求められる社会が到来する。</p>	<p>【学校像/学校経営計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の個性を生かした主体的な学習及び実践的・体験的な学習を重視する。 ・教育の質的向上を図るためにマネジメントサイクルを重視する。 ・情報システムを活用した効果的・効率的な運営を行う。



<p>【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自ら現状を分析し、課題や目標を明らかにすることができる。 ② 目標に向かって継続的、主体的に粘り強く取り組むことができる。 ③ 課題解決に向けて、多様な人々と共に協力することができる。



<p>【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】</p> <p>～ 課題解決能力・ボーダーレスな協働 ～</p> <p>・主体性 ・批判的思考力 ・創造力 ・コミュニケーション能力 ・傾聴力 ・表現力</p>
--

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力		レベル1	レベル2	レベル3	目指すべき生徒の将来像
具体的な達成時期の目安（目標）		1年次終了時	2年次終了時	3年次終了時	
学びに向かう力、人間性等	主体性 (主体的に物事に取り組む力)	自分の考えや意見を持つ	自分の考えを行動に移す	自分の役割を理解し、他者と協力してその役割を果たす	自らのキャリアを切り開くことができる人間
		自分と向き合い、自己の課題を明確にし課題解決に努める。	他者と課題を共有し、協力して課題解決のために計画的に取り組む	社会を取り巻く課題に注目をし、多様な人々と協力して最善で効果的な方法を実行する	
	創造力 (新しい価値観を生み出す力)	既知の事柄を活かし、物事を考える	既知の事柄にとらわれず、物事を多面的に捉え考える	自ら探究することにより、新たな価値観に結びつける	
		身近な環境について理解する	社会状況や経済情勢の変化に関心を持つ	未来の社会の変化を予測し、状況に最適と考えられる発想をする	
知識・技能	批判的思考力 (物事の善し悪しを判断する力)	自ら情報を収集する	情報をうのみにせず、その正当性を客観的に精査する	精査した情報を論理的に組み立て、課題を解決に役立てる	
		自己の置かれた状況を把握し、適切な行動を取ろうとする	自分の行動を常に客観的にみる	自己と他者との関係を把握し、自己の役割を遂行する	
		自己の置かれた状況を順序立てて整理する	確実な根拠に基づいて情報を順序立てて整理し、理解する	複雑化した事象を確実な根拠に基づき順序立てて整理し、判断する	
	コミュニケーションスキル	自己の意見を的確に他者に理解してもらえるように伝える	相手の立場や個性を理解し、自己の意見を的確に理解してもらえるように伝える	自己と他者が相互に有益な関係をもつことを意識して意見を伝える	
		集団の一員として適切な行動をとる	一般常識やマナー、ルールを理解し、適切な行動をとる	一般常識やマナー、ルールを正しく理解し、場面や状況に応じた適切な行動をとる	
傾聴力	他者の言葉に耳を傾ける	他者が話しやすい環境を作り、他者の言葉からその意図を理解する	自分の考えを述べながら、他者が話しやすい環境を作り、意見を引き出す		
	意見や立場の違いを理解する	自分のルールや考えに固執することなく、他者の意見や立場を尊重し理解する	年齢、環境、国籍などが異なる多様な人々の考えや価値観を尊重し、意見を受け止めて自分なりの考えをもつ		
表現力	自分の意見を整理し、他者に的確に伝える	他者に伝える情報を取捨選択し、説明する順序が適切かを考えたうえで資料を作成し、的確に伝える	情報を伝える対象・状況等にも配慮し、準備した効果的な資料をもとに、情報を受け取る側に的確に伝わる表現をすることができる		

※各校で、「資質・能力」の数や「レベル」の段階数は変更する。